第	₹5	次結城市	5総合	計画	実施計画策定	≣及₹	担 ^出								
							部 係 名 学務係								
1. 事業の概要									署 記入者 電話(内線) 624						
	_	業種別	緥	続	(2) 事務事業	教育	育振興事業(小学校)							(3) 事業の	Α Ι
		又は継続]		7.1	の名称			(C) ī	≒₩ →	/ +		+		優先馬	Ž
		第二計画で 業の区分	合計画での位置づけ 業の区分 事務事業						(6) 事業主体 市 (7) 予算・ 事業の性質 一般事業費(ソフト事業)						
		*未の区力	0 01-		(松今計両担	+画掲載ページ			財源等		—	一般事業費(ソフト事業)			
		ロ (宗 (以 泉 /) 、 施 策			もと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				ノル主ルリ		予算科目		国県補助 款 10 項 2 目 2		
			4-1生きる力を育む教育環境づくり(学校教育) ①教育内容の充実								予算書上の	教育振興事業費			2
施策 施策内容			の他								事業名称		(予算書 161 ページに掲載)		
		業期間	開始		年		から	(8)事務分類					事 1	01 1 7 10	-16年7
()	′/ 🛨		終了		年		まで(カ年)		拠法令			D/11 7	F177		
2	3	事業の目		『 内容	+	730	73-77	112		J					
					可に対して行う	かのか	(3) めざ	す姿	(意図	• どの	ような	状態に	こなるの	かか)	
		童生徒及び			310/30 (13)			ず安(意図・どのような状態になるのか) は学力の育成・豊かな心の育成・健康と体力の向上を目指し、児							
						童生徒	の「生	きるカ					いる一翼を		
						の育成			0 0						
,	• 理	科教科の	た実のが	ため理科	斗支援員を配置										
		国庫補助:ネ			るものを通年実施	- 1 — + +	· *								
					るものを通年夫加 図るため夏季休業			************************************							
		場を実施(県委託金) (※ 1-							(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)						
		読書活動推進のための図書整備 学校図書巡回文庫事業(H27新規事業100万円,H28増額													
	300	字校凶者巡回义准争亲(H2/新烧争来100万円,H28增額 00万円)													
	• P	・PC教室の運用													
	-	- 371 7 1	.,,,												
(5) 事	業をとり	まく環				5民ニーズ等)や市								
(5))] 理数	業をとり 数教科の学	まく環	が問題	視され、世界で活	5躍で	きる人材育成と技術	力の維	持のた	め国に	おいて積	養極的な	ょ推進策	が図られた	ことから
(5) 事 理様 本でる。	業をとり 数教科の学 市としても対	まく環 力低下 対応が必	が問題 必要であ	視され,世界で活り,理数教科につ	5躍で	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度	力の維に差が	持のたが出やす	:め国にさ	おいて積	養極的な	ょ推進策	が図られた	ことから E実施す
(5) 事 理様 本でる。	業をとり 数教科の学 市としても対	まく環 力低下 対応が必	が問題 必要であ	視され,世界で活り,理数教科につ	5躍で	きる人材育成と技術	力の維に差が	持のたが出やす	:め国にさ	おいて積	養極的な	ょ推進策	が図られた	ことから E実施す
)事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても対 こ、児童の記	まく環 力低下 対応が必 売書意名	が問題 必要であ	視され,世界で活り,理数教科につ	5躍で	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度	力の維に差が	持のたが出やす	:め国にさ	おいて積	養極的な	ょ推進策	が図られた	ことから E実施す
(5))事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても家 た、児童の記	まく環 力低下 対応が必 売書意名	が問題必要であ	視され, 世界で活り, 理数教科につかため, 学校図書	5躍で	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度	力の維に差が	持のたが出やす	:め国にさ	おいて積	養極的な	ょ推進策	が図られた	ことから と実施す
)事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても対 こ、児童の記 事業コス 行政評価	まく環 力低下 対応が必 売書意名	が問題必要であ	視され,世界で活り,理数教科につ	5躍で	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度	力の維に差が	持のたが出やす	:め国にさ	おいて積 から, 補	養極的な ・アミ	は推進策シスタン	が図られた ト学習事業を	ことから E実施す
<u>3</u>)事 理 本で る。 まか	業をとり数教科の学売としても変え、児童の記事業コス行政評価実施計画	まく環 力低下 対応が必 売書意名	が問題必要であ	視され,世界で活り,理数教科につかため,学校図書 内ため,学校図書	話躍でいて 巡回	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善	力の維に差が	持のたが出やす	め国に	おいて積 から, 補 検討・i	養極的な 記でで 改善内容	な推進策シスタン シスタン	受が図られた ト学習事業を	ことからと実施す
<u>3</u>)事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても対 た、児童の記 事業コス 行政評価 実施計画 算内訳	まく環境のでは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	が問題必要であ	視され,世界で活り,理数教科についため,学校図書 内ため,学校図書 内容の評価 実績額(千円	話躍でついて 巡回	きる人材育成と技術 には児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円)	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
<u>3</u>)事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても変 た、児童の記 事業コス 行政評価 実施計画 算内訳	まく環 力低下 対応が必 売書意名	が問題必要であ	視され, 世界で活 り, 理数教科につ かため, 学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年	がでいて 一型 一型 ・運動	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度	力の維に差が	持のたが出やす	め国に	おいて積 から, 補 検討・i	養極的な 記でで 改善内容	な推進策シスタン シスタン	受が図られた ト学習事業を	ことから 子実施す
<u>3</u>)事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても対 た、児童の記 事業コス 行政評価 実施計画 算内訳	まく環境のでは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	が問題必要であ	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 下のかの評価 実績額(千円 27 年 1,	・選回・・・・はりきを426	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
<u>3</u>)事 理 本で る。 まか	業をとり 数教科の学 市としても対 た、児童の記 事業コス 実施計画 算内訳 報償費	まく環境のでは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	が問題必要であ	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 下のかの評価 実績額(千円 27 年 1,	がでいて 一型 一型 ・運動	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
<u>3</u>	う 事 () 事 () 事 () 事 () まか () まか () 事 () まか (業をとり数数科の学売をした。児童の学売の記事業のでは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、アイスをは	まく環ではない。または、または、またが、またが、またが、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまでは、またまでは、またまでは、またまでは、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではでは、またまではではではでは、またまではではではでは、またまではではではではではではではではではではではではではではではではではではで	が問題が要であり、 次向上の 実績	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書で ででででででいる。 ででででででいる。 実績額(千円 27 年 1、 20、	が ジ ジ 逆 を を を を を を を を を を を を を	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
•	事である。またのでは、一手を持ち、	業をとり数教科の学売をした。 児童の記事業の政制をしても変える 実践の関係を表現である。 また はいまれる はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	まないである。または、またのでは、ま	が問題が要であり、 次向上の 実績	視され, 世界で活り, 理数教科についため, 学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が :巡回 :巡回 () () () () () () () () () () () () ()	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
<u>3</u>	事理する。まり、予算を表現しています。	業をとり数数科の学売をした。児童の学売の記事業のでは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、児童の関係をは、アイスをは	まりなが、意名とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人	が問題が要である。 次向上の 実績	視され, 世界で活り, 理数教科についため, 学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が ジ ジ 逆 を を を を を を を を を を を を を	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
(1)	事理する。まり、予算を表現しています。	業教した 事行実 かおといり 学 かまた 見 コ 評計 報 需 役 使 備 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の	まりなが、意名とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人	が問題が要である。 次向上の 実績	視され, 世界で活り, 理数教科についため, 学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が ジ ジ ジ ジ ジ を を を を を を を を を を を を を	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
(1)	事理する。まり、予算を表現しています。	業教した 事行実 かおといり 学 かまた 見 コ 評計 報 需 役 使 備 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の	まりなが、意名とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人	が問題が要である。 次向上の 実績	視され, 世界で活り, 理数教科についため, 学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が ジ ジ ジ ジ ジ を を を を を を を を を を を を を	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37	力の維に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
(1)	事理する。まり、予算を表現しています。	業教した 事行実 かおといり 学 かまた 見 コ 評計 報 需 役 使 備 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の 関 の	まりなが、意名とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人とは、一人	が問題が要である。 次向上の 実績	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が ジ ジ ジ ジ ジ を を を を を を を を を を を を を	きる人材育成と技術 は児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37	力の維持に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
3	事理する。まり、予算を表現しています。	業をとりの学を表して、またのでは、「大学のでは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、」は、「ないは、」は、「ないは、「ないは、」は、いいは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	まけん。または、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのではで	が問題が要である。 次向上の 実績	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 対内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20, 19, 4,	が :巡回 :巡回 :巡回 (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E)	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635	力の維持に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
3 ● (1)事務事業費の	事理する。まり、予算を表現しています。	業をある。 また また とり がまた に また で また で また で また で また で また で で で で で で	まけん。または、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのではで	が問題を次の一人との一人という。	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635 1	力の維持に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おいまた ないまた ないまたまた ないまたまた ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	生実施す
3 ● (1)事務事業費の	事理する。まり、予算を表現しています。	業教したの学がは、児童では、児童では、児童では、児童では、児童では、児童では、児童では、児童で	まけん。または、または、または、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	が問題を 次 向上 6 実績 料 (千円)	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が :巡回 :巡回 :巡回 :返回 (A) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635 1	力の維持に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おかられた ト学習事業を	生実施す
3	事 選 予 事 業 費 財	業教もと、事行実体のものに、 事行実体のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ま力応書と対応書の内容を関する。	が問題を 対向上の 実績 料 交 (千円) (千円)	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20,	が :巡回 :巡回 :巡回 :返回 (A) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635 1	力の維持に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おかられた ト学習事業を	生実施す
3 ● (1)事務事業費の	事 選 予 事 事 費	業教した。事行実命を対したのは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	ま力応書と対応書の内容を関する。	が問題を 対向上の 実績 (千円) (千円) (千円)	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20, 19, 4,	が :巡回 :巡回 :巡回 :返回 (A) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 検討・改善 当初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635 1	力の維持に差が	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おかられた ト学習事業を	生実施す
3 ● (1)事務事業費の	事 選 予 事 業 費 財	学教もと、事行実体需要を対し、地域である。 「「「「「「「「」」」」 「「」」 「「」」 「、」 「 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「 「、」 「 、」 「 、」 「 、」 「 、」 、 、 、 、 、 、 、 、	ま力応書の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	が問題を 対	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書 内容の評価 実績額(千円 27 年 1, 20, 19, 46, 46,	が :巡回 :巡回 :巡回 :後 426 647 36 806 987 1 101 453 349 903	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 学初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635 1 23,745 23,161 23,745	力の維えて完全	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おかられた ト学習事業を	生実施す
3 ● (1)事務事業費の	事 選 予 事 業 費 財	学教され、事行実は、報需役使備負 合国県地そーを科し、児業政施訳 慣用務用品担 計庫支方の般とのもの。ス価画 事 及入引輔 出金 特源の学家 の ス 価 画 事 の の ス 価 画 事 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ま力応書・トースのでは、大きのでは、までは、たらのでは、たら	がめ、次 実績 中 (十八十八十円) (十八十円円) (十八十円円) (1111円円) (1111円円) (1111円円	視され、世界で活り、理数教科についため、学校図書でいる。 対内容の評価である。 実績額(千円 27 年 1, 20, 19, 4, 46, 46, 46, 46, 46, 46, 理科実験等準備表	が 記述回 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きる人材育成と技術では児童生徒の習熟度 文庫事業を今後さら 学初予算額(千円) 28 年度 1,567 4,259 37 11,246 6,635 1 23,745 101 483	力の維えて完全	持のた が出やっ を図る。	め国にな	おいて積 から, 補 検討・i	数善内容 ・アション ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ ・アシ	容を反映	ででである。 おかられた ト学習事業を	生実施す

4-6

平成 28 年度

4. 指標の検証(活動指標・成果指標)												
	指標	原の名称	7	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
(1) 活動	指標(実施した	事業の)内容)									
+⊬-,			目標値	5								
指 標—			実績(見込									
名			目標値									
(O) ## B	*****	·/- L -	実績(見込									
(2) 放果	指標(事業実施	による	るめざす姿の達成度》									
			目標値 実績(見込									
指			達成率		%	%						
■ 標			目標値		/0	/0						
名	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □											
				<u>X</u>	%	%						
5. 事業	評価				, ,	, 3						
		価結り	果をうけて,平成27	7年度に国	取り組んだ改	革改善点がな	あれば記載し	てください。				
国・県の神	補助金制度を活用	用して!	里数系授業の充実を[図っている	3 .							
(2) 項目	別評価											
	評価項目	• 客	観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	А	必要性は高い									
妥当性	実施主体の 妥当性	А	妥当である									
ダゴは	手段の妥当性	А	妥当である									
効率性	コスト効率 人員効率	В	どちらとも言えない									
公平性	受益者の偏り	А	偏りは見られない									
有効性	成果の向上	В	どちらとも言えない									
進捗度	事業の進捗	А	順調である									
(3)総合記	平価 上記評価	を踏ま	えて事業全体につい	1て評価(」,問題点・	課題等を指揮	商してくださ	٤١١.				
理科教科;理科支援員·算数:学びの広場を実施し一定の成果を得ている。 読書活動については,国の読書環境整備5カ年計画による地方財政措置に基づく整備費用を学校に配当し,図書整備に活用されている。												
(4)対応第	策・提言等 この	の事業	を今後どのように改	攻善・改革	をしていき	ますか?						
今後も補助金制度を積極的に活用し、授業の活性化・工夫を図れる環境を整備する。学校図書巡回文庫事業については、図書購入を増やすことで読書活動の推進を図る。また、ゆうき図書館の団体貸出や読書通帳と連携し、よりよい児童への読書環境づくりを行っていきたい。												
6. 事業の方向性判断												
	平価主体	28年月	度以降の事業の方向性		評価理由•根拠							
(1)記入者 記入者	者評価 者が評価を行う	果向上	改革しながら継続(成・コスト維持又はコスト削 果維持・コスト維持又はコス	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。								
(2)一次記担当課	評価 県長が評価を行う	改善 ・ 果向上	改革しながら継続(成 I・コスト維持又はコスト削 果維持・コスト維持又はコス	CT環境も	T環境も検討する。							
(3) 最終評価 上記評価のとおり。												
	財会議において				2E I IMI 42 € 02 ∆ 0							

評価を行う